



<8月の行事等について>

- ・8月6日と7日にひまわり福祉会の系列園の保育士が2名(8時30分～17時15分)、本園保育士と保育をします。
- ・8月13日(水)から15日(金)は、1号教育認定児は夏休みとなります。

広島平和記念日

今年も8月6日が近づいてきました。被爆地である広島に生まれ育つ子どもたちが、平和について考えたり、発信できたりする気持ちが育っていった欲しいなと願います。



広島に生まれ育った職員も含め、戦争を知らない世代の我々も平和について伝えることや考えることに難しさはありますが、子どもたちには『平和ってどんなこと』『命を大切にすること』などを考える機会となるように年齢に応じて伝えたり、考えたりできればと思います。『大好きな人がそばにいる』『自分が愛されている』『友だちとプール遊びや水遊びができる』『おいしいご飯がいっぱい食べられる』ことも大きな意味での『平和』ですね。また、虫探しや飼育の中で「小さい虫にもみんなと同じように命があること」「みんなと同じように大切な命」「お世話をするための責任を持つ」など担任からも命について話しています。身近な自然や生きものとの関わりの中で、子ども同士で考えることや命の大切さや優しく接する気持ちに目を向けるきっかけになればと願っています。本園の園庭にも被爆アオギリ二世が大きく育っているところです。平和について考える機会を通してアオギリの木にも関心を持ち、平和や命を大切にすることが育んでいけたらと思います。

今年は、『空にさく戦争の花火』(作:高橋秀雄 絵:森田拳次)の絵本を子どもたちに話していくことを考えています。ご家庭でも、「平和について」「自分の気持ち」「人の気持ち」「仲よくすること」など話し合う機会を作ってくださると嬉しいです。また、平和の折り鶴についてもご家庭と協力して折っていき、千羽鶴にして平和公園に持って行きたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

<食育活動を通して>

先月はきゅうりの収穫が多かったですが、今月はどのクラスの野菜もたくさん実り、各クラスでいろいろな食べ方で味わう姿があります。その中で、今まで給食でおかわりをしたことがない子が「おかわり」と自分から言う姿や「苦手だから少しでいい」と言った子が食べてみると「おいしい、まだ食べたい」という姿など保育士や調理室から嬉しい、すごいねの声が聞こえています。食育活動を通して「食べてみようかな」の気持ちや関心を持つこと、「食べられた」という自信につながるようにしています。子どもはひとりで食べられるようになるのではなく、食もいろいろな人との関わりを通して、食べる力が豊かになり、「健康な心と体」が育まれていきます。



【火の取り扱いに気をつけましょう】



夏の楽しみの一つでもある花火。ご家庭でもお子さまと一緒に手持ち花火や吹き上げ花火をする機会があると思います。楽しい花火も正しく使用しないと火災に繋がります。花火をする時は子どもへ約束を話してから遊んでください。

- <花火をする時の約束> ☐ 子どもだけで行わず、大人と一緒にする ☐ 水の入ったバケツを準備する
☐ 花火を人や物に向けない

※また、子どもの手が届くところに火がつくもの(ライターやマッチ)がないか確認しておきましょう。
 火災は命だけでなく、たくさんの大切なものを奪うことに繋がります。

